

---

第9報 平成29年9月20日

平成28年熊本地震 災害復旧資材供給情報

## 復旧・復興工事に関わる 建設資材等の需給動向



一般財団法人 経済調査会

---

平成28年熊本地震により被災されました方々に、心よりお見舞い申し上げますとともに、犠牲となられた方々のご遺族の皆様に対し、深くお悔やみ申し上げます。

熊本県内の復旧・復興工事に関わる主要建設資材等の価格及び供給情報について、平成29年9月15日までに収集した情報をもとに取りまとめましたので、お知らせいたします。

調査にご協力頂きました関係各位に感謝申し上げますとともに、当資材供給情報が被災地の復興に向けた一助となれば幸いです。

※災害復旧資材の供給情報提供窓口 <https://www.zai-keicho.or.jp/fukkyu/>

【問い合わせ先】

一般財団法人 経済調査会 土木第一部

TEL : 03-5777-8215 FAX : 03-5777-8230

## 【生コンクリート】

### （熊本地区）

熊本地区の8月の出荷量は56,768m<sup>3</sup>と前年同月比28%増（熊本県生コンクリート工業組合調べ）。元交通センター等の跡地再開発工事の大型物件もあり、需要は堅調。一方、アジテーター車が不足しており、需給はややひっ迫している。

価格は、建築標準物21-18-20でm<sup>3</sup>当たり15,500円どころ。熊本地区生コン協組では、アジテーター車のチャーター料金の値上がりによる運搬コストの増加、人材確保に伴う人件費の増加、骨材の値上げ要請等をふまえ、4月以降の契約物件よりm<sup>3</sup>当たり1,000円の値上げを表明し、需要者と交渉に臨んでいる。しかし、新規発注物件も少なく、既契約分が出荷の中心となっており、需要者側も値上げには難色を示していることから、市場に浸透するには時間を要する見通し。先行き、横ばいで推移する見通し。

### （阿蘇地区）

阿蘇地区の8月の出荷量は10,802m<sup>3</sup>と前年同月比25%増（熊本県生コンクリート工業組合調べ）。震災復興関連工事等を中心に需要は堅調であるもののアジテーター車が不足していることから、需給はややひっ迫している。今後、国道57号線の復旧関連工事が本格化してくるため、さらなる需要増が見込まれている。

価格は、建築標準物21-18-20でm<sup>3</sup>当たり19,300円どころを横ばいで推移している。阿蘇地区生コン協組では、震災復興関連需要による出荷量の増加に対応するため、他地区からのアジテーター車のチャーターを増やすなど安定供給に努めている。先行き、横ばいで推移する見通し。

## 【コンクリート用砕石 20～5 mm】

### （熊本地区・阿蘇地区）

震災復興関連工事、元交通センター等の跡地再開発工事等で需要は堅調。各メーカーとも運搬車両が不足しており、需給はややひっ迫している。

熊本砕石共販協同組合では、ダンプのチャーター料金の値上がりによる運搬コストの増加、人件費の上昇、出荷量の増加に対応するための設備更新費の増加を背景に10月1日の取引分よりm<sup>3</sup>当たり200円の値上げを表明している。需要者側の抵抗はあるものの、供給側は安定供給体制維持のため、今回の値上げに関しては一歩も引かない構え。先行き、強含みで推移する見通し。

## 【アスファルト混合物】

### （熊本地区・阿蘇地区）

熊本県下の7月の出荷量は78,679tと前年同月比13%増（日本アスファルト合材協会調べ）。震災復旧関連工事需要は増加しているが、小規模な工事を中心で需給は均衡しておりひっ迫感はない。震災復興関連に伴う舗装工事が本格化するの年明け以降の見通し。

価格面では、ダンプのチャーター料金が値上がりしており、運搬コストは増加している。主原材料であるスト・アス価格は4月以降落ち着いているものの、10月以降に骨材の値上げが予定されており、製造コストの増加もメーカー側の懸念材料となっている。こうした中、メーカー側は価格の引き上げを検討しているが、需要者の購買姿勢は厳しく、値上げを打ち出せる状況にはない。先行き、横ばいで推移する見通し。

熊本地震 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品（地場資材）

【平成29年9月15日 現在】

資材名 [掲載頁]	地区名	熊本地震以降の直近変動 (月号・額) ※2016年4月号 以降の変動		単位	価 格 (円)	前月比	現在の需給	先行き	
								需給	価格見通し
生コンクリート 建築標準物 (21-18-20) [128]	熊本	—	(変動なし)	m3	15,500	変わらず	ややひっ迫	ややひっ迫	横ばい
	阿蘇	2017年 7月号	2,000円上伸	m3	19,300	変わらず	ややひっ迫	ややひっ迫	横ばい
コンクリート用 砂 荒目(洗い) [189]	熊本	—	(変動なし)	m3	3,100	変わらず	ややひっ迫	ややひっ迫	強含み
	阿蘇	—	(変動なし)	m3	3,900	変わらず	ややひっ迫	ややひっ迫	強含み
コンクリート用 碎石 20～5mm [189]	熊本	—	(変動なし)	m3	3,200	変わらず	ややひっ迫	ややひっ迫	強含み
	阿蘇	—	(変動なし)	m3	3,600	変わらず	ややひっ迫	ややひっ迫	強含み
再生 クラッシュラン 40～0mm [189]	熊本	—	(変動なし)	m3	2,000	変わらず	ややひっ迫	均 衡	横ばい
	阿蘇	2016年 12月号	200円上伸	m3	3,000	変わらず	ややひっ迫	ややひっ迫	強含み
アスファルト 混合物 再生密粒度 (13) [320]	熊本	—	(変動なし)	t	11,200	変わらず	均 衡	ややひっ迫	横ばい
	阿蘇	—	(変動なし)	t	12,200	変わらず	均 衡	ややひっ迫	横ばい

【特記】 需給動向は供給者側に確認し、直近1～2か月前と比較した結果である。

熊本地震 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品（一般資材）

【平成29年9月15日 現在】

資材名 [掲載頁]	地区名	市場動向・概況	現在の需給	先行き	
				需給	価格見通し
鋼材 異形棒鋼 [20]	熊本	製品の供給面に問題はなく、需給は均衡している。原料の鉄屑価格の高騰により、SD295 D16で先月比t当たり4,000円の上伸。メーカーは強気の販売姿勢を崩していないことから、先行きも強含みで推移する見通し。	均衡	均衡	強含み
型枠材 コンクリート型枠用合板 [213]	熊本	大規模再開発向けをはじめ文教施設や商業施設等、需要が本格化し始めている。供給面では、産地側の原木不足により一部入荷遅れの影響でやや逼迫しているが、今のところ問題は生じていない。価格は産地価格の値上がりが続いており、先月に引き続き、枚あたり30円の上伸となった。先行き、強含みで推移する見通し。	ややひっ迫	ややひっ迫	強含み
仮設鋼材賃貸料金 鋼矢板・H形鋼 鋼製山留材 ・鋼製覆工板・敷鉄板 [280～286]	熊本	年度下期に向け仮設鋼材需要が高まっており、需給にややひっ迫感が生じている。引き続き震災復興関連工事等を含め堅調な需要が見込まれており、需給は先行きも同様の展開が続くとみられる。価格は横ばいで推移。	ややひっ迫	ややひっ迫	横ばい

【特記】 需給動向は供給者側に確認し、直近1～2か月前と比較した結果である。

【平成29年9月15日 現在】

資材名 [掲載頁]	地区名	市場動向・概況	現在の需給	先行き	
				需給	価格見通し
土木工事市場単価 鉄筋工(手間のみ) [土木施工単価3~11]	熊本	被災地区である熊本市、上益城郡、阿蘇郡における災害復旧関連工事では引き続き、道路、橋梁など一般構造物の新設・補修工事を中心に発注されている。この状況下で鉄筋工の需給は依然としてひっ迫気味に推移しており、専門工事業者側は値上げを要請しているが、総合建設業者側の反発は強く、市場には浸透していない。阿蘇大橋の災害復旧工事等が本格稼働する年末以降は、鉄筋工の不足感に拍車がかかりそう。市況は一般構造物でt当たり56,000円どころだが、先行き、強含みで推移する見通し。	ややひっ迫	ひっ迫	強含み
建築工事市場単価 鉄筋工事(手間のみ) [建築施工単価10~13]	熊本	市内商業施設や、既存建築物の耐震改修、県下の農業施設向け物件をはじめ、大規模再開発の躯体工も稼働しており、専門工の稼働率は高い状態が続いている。需給の引き締めから市況は強含みに転じ、RCラーメン構造・階高3.5~4.0m程度・形状単純でt当たり50,000円どころと、前回調査比3,000円方上伸。需給のタイト感が解消する兆しはなく、先行き、強含みで推移する見通し。	ひっ迫	ひっ迫	強含み
建築工事市場単価 型枠工事(材工共) [建築施工単価20~23]	熊本	需要は、市街地中心部の大規模再開発工事が本格化。これに既存の文教施設向け、商業施設向け物件の稼働が重なり、需給はタイト感が強まっている。価格は、普通合板型枠・ラーメン構造・地上部階高3.5~4.0mでm2当たり4,500円どころと前回調査比300円上伸。需給はしばらくひっ迫した状況が続くとみられ、先行き、強含みで推移する公算が大きい。	ひっ迫	ひっ迫	強含み

【特記】 需給動向は専門工事業者及び総合工事業者に確認し、直近3か月前と比較した結果である。